

2021.11.14

福岡市西区・今津干潟の

ミサゴ、ホオジロ、ヨシガモ、ソリハシセイタカシギ、クロツラヘラサギ



ミサゴ(鵟) ワシタカ科 L=メス64cm



ホオジロ(頬白)メス
ホオジロ科 L=16cm



ヨシガモ(葦鴨) ガンカモ科 L=オス54cm



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高鳴)
セイタカシギ科 L=43cm
英名:アボセット



クロツラヘラサギ(黒面簞鷹)
トキ科 L=77cm



ヨシガモ(葦鴨) ガンカモ科 L=メス48cm



ヨシガモ(葦鴨) ガンカモ科 L=オス (エクリップス) 54cm



ヨシガモ(葦鴨)
ガンカモ科 L=オス54cm



ヨシガモ(葦鴨) ガンカモ科 L=オス54cm



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高嶋)

セイタカシギ科 L=43cm

英名：アボセット



ミサゴ（鵟）　ワシタカ科　L=メス64cm



クロツラヘラサギ(黒面篋鷺)
トキ科 L=77cm



マガモ(真鴨)メス
ガンカモ科 L=59cm



クロツラヘラサギ(黒面篋鷺) トキ科 L=77cm



クロツラヘラサギ(黒面鏡鷺) トキ科 L=77cm



クロツラヘラサギ(黒面鏡鷺) トキ科 L=77cm



クロツラヘラサギ(黒面鏡鷺) トキ科 L=77cm



クロツラヘラサギ(黒面鏡鷺) トキ科 L=77cm



カワウ（河鵜） ウ科 L=82cm

ソリハシセイタカシギ

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

分布

ヨーロッパ、中央アジア、アフリカ中南部で局地的に繁殖し、冬季はヨーロッパ南部、アフリカ、インド西部、中国南部などに渡り越冬する。

日本では、数少ない旅鳥または冬鳥として北海道、本州、九州、南西諸島、小笠原諸島で記録がある。1-2羽で飛来することが多い。

生態

干潟や砂浜、汽水湖、河口に生息する。越冬地では群れで生活する。繁殖地ではコロニーを形成する。

食性は動物食。嘴を水や泥につけ左右に振りながら歩き、甲殻類、昆虫類などを捕食する。

繁殖形態は卵生。砂地など地上のくぼみに植物を敷いて営巣し、黄褐色の地に黒い斑のある卵を3-4個産む。抱卵日数は23-25日で雌雄協同で抱卵する。雛は約35日で巣立つ。

鳴き声は「ホイッ」または「クリュッ」。

名前の由来は、セイタカシギに似るが、クチバシが上方に反ることから。



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高鳴)
セイタカシギ科 L=43cm 英名: アボセツト



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高鳴)
セイタカシギ科 L=43cm
英名：アボセット



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高鳴)
セイタカシギ科 L=43cm 英名：アボセット



ソリハシセイタカシギ(反嘴丈高鳴)
セイタカシギ科 L=43cm 英名：アボセツト



ホオジロ(頬白)メス ホオジロ科 L=16cm